

平成29年度事業計画

自 平成29年5月 1日

至 平成30年4月30日

平成29年3月14日

公益財団法人 小柳財団

1. はじめに

本財団は生命科学の健全な発展に寄与し、技術革新と人間重視の両面からよりよい社会環境の実現に貢献したいと願っています。

生命科学の分野で農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究者および研究機関の支援を行うことにより、広く「人間の健康と美」に貢献したいと願っています。

本事業では、既成の概念にとらわれず広い視野と新たな発想を持って、生命科学の分野において、既に存在する課題はもとより未来を見据えた潜在的な課題に取り組む研究活動を支援します。この目的を達成するために、本年度は下記の3点を基本方針として事業を推進します。

2. 平成29年度方針

- (1) 本財団の目的である「生命科学の研究活動の支援」に努め、研究者や研究機関が研究活動を行うための助成金交付を行い、研究活動の支援をします。
- (2) 本年度も、過去の研究助成の募集の経験を生かして、募集要項等書類を修正し、前年の課題点を改善して公募を実施し、本財団の選考委員会の審査・審議を経て、研究助成金の交付先の内定を決定します。また、公募方法としては、本財団のホームページにて公募を実施し、また、助成財団を支援する他の公益財団のWEBサイトを活用し、広く公募を実施します。
- (3) 財団の規程の改定のため、財団運營業務の効率化や公益目的事業の活動が効率的で柔軟に行えるようにするため、規程全般の内容の確認を行い、改定に必要となる手続きや影響のある事項の洗い出し等事前準備を行います。

3. 公益目的事業について

本財団の事業収入は、基本財産として保有する株式の配当収入に依存するところが大きく、平成29年度においても、前年と同等の配当が見込まれます。この配当収入を本財団の目的である生命科学に関する分野で、「人間の健康と美」に関連する研究活動の支援に活用します。本年度は生命科学の分野における、農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究活動で、「人間の健康と美」に関連する研究活動に助成します。

本事業年度研究助成予算の内訳は、「研究助成金」として、21件(1件 最大で100万円)、合計で2,100万円の支出を計画しております。

なお、応募件数の増加を図るため、本財団のホームページによる募集、他の財団のWEBサイト等を活用し、広く社会へ発信することで応募者の範囲拡大を図ります。

財団活動の、主なものは下記のとおりです。

- (1) 平成28年度研究助成金の実績公開(平成29年4月月末～5月初旬公開予定)
- (2) 平成28年度の選考委員名簿の公開(平成29年4月月末～5月初旬公開予定)
- (3) 平成30年度研究助成金の募集の実施(平成29年6月1日～7月末日)
- (4) 平成30年度研究助成金の応募案件の採択と助成金交付の実施
- (5) 平成28年度助成金交付先より年次報告書回収(対象期間 平成29年4月～平成30年3月)
- (6) 財団の規程全般の確認(財団運營業務の効率化や公益目的事業の効率的で柔軟な活動が行えるようにするための内容確認と改定案作成)

4. 具体的な公益目的事業計画

生命科学に関する分野の中で、農林水産分野と食品分野と生物学分野の研究で、「人間の健康と美」に関連する研究活動を支援する。

(1) 平成28年度の財団活動情報の公開(本財団HPの情報公開のページ)

① 研究助成金募集活動(募集要項、申請書類等)

② 研究助成金交付実績(研究者氏名と研究テーマ、助成金額)

③ 決算報告書類

・貸借対照表

・財務諸表に対する注記

・正味財産増減計算書

・財産目録

・正味財産増減計算書内訳書

・監査報告書

④ 事業報告

⑤ 定款・規程関係(変更がある場合のみ更新)

・定款

・規程(役員報酬規程、助成金交付規程)

(2) 平成30年度研究助成金募集の実施

① 平成30年度研究助成金の募集に関連する資料のPDF化と本財団HPにアップ

※募集要項、申請書類、申請書類記入要項

② 本財団HPにて平成30年度研究助成金の募集開始(平成29年6月1日より)

③ 公益財団法人助成財団センター(JFC)のWEBサイトの活用

(3) 平成30年度研究助成金応募案件の採択及び理事会承認

① 研究助成金の応募案件の採択作業

選考委員全員による応募案件の採点を、平成30年度研究助成金の募集要項の条件に照らして採点(5点方式)をする。採点した結果を事務局でまとめ、応募案件採点表を作成し、選考委員に配布する。その後開催される選考委員会において、審査・協議を行い、助成金の交付内定先となる21件の採択候補を決定する。但し平均点3点前後のボーダーラインとなる応募案件は、選考委員全員で応募書類の内容について、再度審査と協議を行い、本年度の募集要項の条件と定款の事業目的に、適合しているか判断し、最終的に21件の採択を決定する。

② 上記①で採択された応募案件の承認(平成29年10月承認予定)

選考委員会にて採択した応募案件に対して、理事会にて承認する。

(a) 助成の件数は21件とする。

(b) 助成金交付額(1件、最大100万円まで)

③ 上記②で承認された交付内定先に選考結果の通知と第2次提出書類の送付する。

(a) 応募のあった研究者全員に選考結果の通知を送付する。(採択と不採択の通知)

(b) 内定先には第2次提出書類を同送する。(同送書類は下記のとおり)

a. オーバーヘッド(間接経費)の取り扱いのお願い

b. 誓約書

c. 助成金振込口座申請書

※bとcが第2次提出書類です。この書類の受理をもって確定交付先になります。

平成29年度事業計画

- ④ 研究助成金の交付実施(確定した助成先に交付する。)
平成30年2月下旬から平成30年3月上旬までに交付する。
- ⑤ 研究助成金の交付通知と第3次提出書類の発送(同送書類は下記のとおり)
 - a. 研究助成金交付通知
 - b. 研究助成金受領書
 - c. 研究成果報告書
 - d. 助成金使用支出明細書

※cとdは年次提出書類です。(平成31年4月30日必着)

(4) 平成28年度助成金交付先より年次提出書類の回収(対象期間:平成29年4月～平成30年3月)

・助成金交付先に年次提出書類の提出のお知らせメール配信

①平成29年度研究成果報告書(平成29年4月～平成30年3月)

②平成29年度助成金使用支出明細書(平成29年4月～平成30年3月)

※上記の①と②は平成30年4月27日必着

③ 研究成果報告書と助成金使用支出明細書の内容確認

※研究成果報告書の内容と助成金使用支出明細書の内容を

確認し、不備があれば再提出の依頼を行う。

5. 事業資金について

平成29年度も所有株式の配当が予定されていますので、基本財産運用益の受取配当金として、2,668万円を予算計上しています。

6. 財団の規定改定のための準備

財団の規程全般の見直しを行う。財団運営の効率化と公益目的事業の効率化や柔軟な活動が出来るようにすることを目的として、財団の規程を全て見直しを行う。具体的な改定(案)と改定内容をベースに改定前と改定後の比較を行い、影響事項の洗い出しとその対応方法の決定をする。また、関係する所轄官庁への相談、届け出の手続き等改定スケジュール(案)を作成する。平成29年度は規程の改定のための、事前準備を行い、事前準備の作業項目の洗い出しと関係する所轄官庁の届け出等の調整を行いながら進めます。

7. 資金調達及び設備投資について

本事業年度においては、資金調達及び設備投資の計画はありません。